

環境学習機能について

1. 概要

焼却施設における環境学習機能の提供や3R推進等の周知啓発については、全国的にも多くの施設で実施されており、その取り組みも様々です。本市の焼却施設においても、主に小学生や町内会等を対象とした施設見学を随時実施し、各施設に設置した展示物を活用しながら、焼却施設の仕組みや3R推進等について、分かりやすい環境学習・啓発活動（以下「環境学習等」）の実践に努めています。

一方近年は、新たな施設の立ち上げを好機ととらえ、廃棄物処理や3R推進といった焼却施設と直接関係する課題にとどまらず、地球温暖化や生物多様性といった地球規模の環境問題を含めた、持続可能社会啓発拠点とも言うべき活用を図っている事例も増えてきています。

ここでは、現在の取り組み状況等について振り返るとともに、市全体の環境学習等の中で、新今泉工場をどのような活動拠点と位置付けるのか、どのような役割を果たしていくべきか、現時点での考え方や方向性、今後の取り組み等について整理します。

2. 関連する計画等

環境教育や環境学習等に関連する計画等について、その概要等は以下のとおりです。

(1) 環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する基本的な方針

『環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律（環境教育等促進法）』第7条に基づき平成30年6月に閣議決定され、策定から5年が経過した本年5月に改定されています。「体験活動を通じた学びの実践」や「施策を効果的に実践するためには「つなぐ」取り組みが重要」といった方針・方向性などについて言及されています。

(2) 市の環境プラン（仙台市環境基本計画、令和6年3月）

『仙台市環境基本条例』に基づき策定し、令和3年3月に現在の計画を策定しましたが、国の温室効果ガス削減目標の変更に伴い令和6年3月に計画を一部改定しています。

環境に関する学びについては、分野別環境施策「行動する人づくり」のなかで、「教育機関や市民団体等と連携し、環境への理解を深めるイベントや自然観察会の開催、体験型の学習プログラムの整備・実践など、市民や事業者の環境学習の機会を幅広く提供します。」などのほか、「ごみ処理施設や下水処理施設、エネルギー性能の高いオフィスビル、先進的な環境技術を有する工場等について、環境に関する学びの場としての活用を図ります。」として、ごみ処理施設の活用についても言及しています。

(3) 仙台市一般廃棄物処理基本計画（令和3年3月）

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）』に基づき、市町村がその一般廃棄物処理に係る基本的な考え方や方向性について定めるもので、令和3年3月に現在の計画を策定しました。

環境教育については、基本方針2「わかりやすい情報発信と行動する人づくり」における重点的な取り組みとして「環境教育の推進」を掲げ、小中学生自らが実践者となるとともに家族も学べるような啓発ツール・学習の充実や、地域の担い手として活躍が期待される中高年層への啓発に取り組むなど生涯にわたり学ぶことができる環境づくりなどについて言及しています。

3. 本市の環境学習施設等

本市の環境学習施設等における現在の取り組みは以下のとおりです。その他、啓発に関する取り組みとしては、地域の集会所や学校等を訪問して3R推進や地球温暖化対策などを啓発する出前講座の実施や、参加型・体験型の啓発プログラム、事業者等と連携した各種イベントでの啓発などを行っています。

<表> 本市の環境学習施設等

施設等	利用者数等 (R5)	主な設備・活動内容等
① ごみ処理施設見学	今泉：10件・86人 葛岡：87件・4,161人 松森：104件・4,230人 計：201件・8,477人	ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設（今泉・葛岡）、資源化センター（葛岡・松森）等の施設見学・説明
②リサイクルプラザ（葛岡・今泉）	葛岡：55,333人 今泉：14,563人 計：69,896人	リユース品（家具、家電、おもちゃなど）の受入・提供、リサイクル工房（持込品の補修、清掃）、リユースブティック、ブックコーナー、学習展示室（葛岡のみ）、施設見学受入（小学生、一般）
③環境施設見学バス「ワケルくんバス」	53件・1,100人 ※①の人数は含まない	市内の町内会、子供会、社会学級などを対象に、焼却施設など環境に関する施設見学バスを運行
④せんだい環境学習館「たまきさんサロン」	3,699人	環境について学ぶサロン講座の開催、子どもたちへの環境学習の場の提供、セミナースペースや図書貸出等による学習活動や交流の場の提供

4. 他都市の取り組み事例

以下では、環境学習等に係る他都市事例をいくつか紹介します。新今泉工場においては、他都市の事例も参考としながら、他の環境学習等の取り組みとのバランスや、これまでは働きかけが比較的手薄だったと考えられるターゲット・分野など、様々な観点を踏まえた具体的な取り組みが必要と考えます。

【主に大人向けの取り組み】

事例① 栃木県宇都宮市 環境学習センター「環境未来館」

「見る・知る・行動する」を運営のコンセプトに、自然環境保全や3R推進、地球温暖化対策など幅広い分野を体系化した学習機会を提供。小学生・親子向けの講座の他、半年ごとにテーマを決めて講義と施設見学を実施する「環境大学」など大人向け講座を実施。

【体験型学習に係る取り組み】

事例② 埼玉県さいたま市 桜環境センター 環境啓発施設

ごみ処理施設に3Rや地域環境を体験的に学ぶための環境啓発施設を併設し、無料の市民活動スペース「さくらスクエア」や工作・自然観察イベント等に使用する工作体験室を整備するとともに、ごみから生まれるアート体験・ビオトープでの環境保全活動など、様々な体験・学習プログラムを実施。

【地球温暖化対策（脱炭素）に係る取り組み】

事例③ 福島県郡山市 富久山クリーンセンター

「カーボンニュートラルシティこおりやま」の実現に向け、市民の脱炭素型の行動を後押しすることを目的に、富久山クリーンセンター内に体感型環境学習施設を整備し、パネルや動画の鑑賞やタッチパネルを使ったゲームなどを用いて、遊びながら地球温暖化対策や3R推進などについて、学ぶ場を提供。

【その他の取り組み】

事例④ 東京都武蔵野市 武蔵野クリーンセンター

見学者コースは一般開放されており、いつでも自由に予約不要で見学できる。ガラス越しにプラント機械を見ることができ、フロアを1周することで、ごみ処理の仕組みがわかるようになっている。

5. 新今泉工場における環境学習等の取り組みの方向性等

新今泉工場は、最新の焼却設備を備えた工場となるとともに、工場という特色を最大限生かし、新たな環境学習等の拠点を兼ね備えることも期待されています。現時点で想定される役割や位置付け等は以下のとおりです。

(1) 新今泉工場における環境学習等の役割・位置付けについて

最新の設備・機器を有する新今泉工場は、関連する計画における位置づけやこれまでの取り組み等を踏まえると、引き続き3R推進に係る活動の中心的な拠点としての役割が期待されていると考えます。

また、近年の他都市事例等から、3R推進に係る視点をきっかけとして、地球温暖化など他分野の環境課題へのアプローチなども期待されます。

本市の環境学習等全体を効率的・効果的に進めるため、新今泉工場に求められる役割や位置付けについて、今後の工事発注手続きを進める中で、明確化していきます。

(2) 想定される設備・機器等

現今泉工場においては、工場見学のための一般的な会議室や展示室、また外から内部を確認できる見学通路などが整備されていますが、見学箇所が限られていることや、展示物の風化・陳腐化などの課題があります。

新今泉工場においては、映像や音響等の効果的な活用や、従来の工場では見るのが難しい設備・機器類を間近に体験できるなど、工場見学の魅力を高める工夫について、今後の工事発注手続きの中で詳細に検討します。

また、いわゆる据え付けの展示物に拘ることなく、例えば統計資料やホームページなどと連動した最新情報の随時取得・展示や、啓発プログラムを複数準備した上で目的や年代等に応じて選択できる仕組みなどについて検討します。

(3) その他の課題等

新今泉工場における環境学習等拠点機能について、その他検討が必要と考える課題等は以下のとお

りです。

なお、今後、『今泉工場建替基本計画』の上位計画として位置付けている『杜の都環境プラン』及び『仙台市一般廃棄物処理基本計画』の見直し等も予定されていることから、新たな活動拠点の整備運用手法については、それらの動きも踏まえて更に具体的に検討を進めます。

- ・様々な年代・世代それぞれに必要な知識・情報を届けるための見学・啓発プログラムの設定
- ・食品廃棄物削減など廃棄物処理に至る前の取り組みに係る環境学習等の強化
- ・廃棄物処理と脱炭素等の関わりや、3R以外の環境課題に関する環境学習等の内容の検討